

三原市立南方小学校 4年生

切磋琢磨

長寿会・西長寿会の方たちとの

竹細工教室

平成27年9月11日（金） 南方コミュニティセンターにて

長寿会・西長寿会のみなさんに教えてもらいながら、竹細工にチャレンジしました。子どもたちは、何を作らせてもらえるのだろうか、新学期が始まるとずっと気になり、楽しみにしていました。竹の一輪挿し、はし、水鉄砲、竹の筆などをのこぎりや切り出しナイフ、木槌などを使って作りました。



まず、今日作る竹細工の見本を見せていただきました。みんな、「よし作るぞ!」という気持ちになりました。



さっそく、作りたいもののコーナーに行き、切り出しナイフの使い方を教えてもらい、作品作りに挑戦しました。



これは、水鉄砲のコーナーです。のこぎりで、水鉄砲の押し棒を切っているところです。のこぎりをまっすぐひくのが難しかったです。



おわりの会。代表の方からお話を聞きました。

4年生の代表も、お礼の言葉を述べました。長壽会・西長壽会のみなさま、ありがとうございました。

子どもたちの感想から

- ぼくが一番難しいと思ったのは、筆づくりでした。まず、竹の皮をむいて、木槌で何回もたたきました。そのとき、「うまい。うまい。」と言ってもらったので、とてもうれしかったです。出来上がって試しに紙に書いたら、すごくきれいな字が書けました。
- ぼくが一番作りたかったのは、コップです。理由は、お母さんやおじいちゃんやおばあちゃんが、コーヒーやお茶を飲むので作ってあげたかったのです。作った箸を家に持って帰って、お母さんに見せました。さっそくお母さんは、その箸をさい箸にしててんぷらをあげました。「この箸、使いやすいね。」と言ってくれました。
- 家に持って帰ると、「すごいね。やったじゃん。」と言われました。わたしは、そのときすごくうれしくなり、「やったあ。」と思いました。はしとコップは、大事に使います。
- 箸を作るとき、上手に削れなかったけれど、おじいさんがやさしく削り方を教えてくださって、とてもうれしかったです。